



平成30年4月、九州大学「共創学部」を設置

九州大学は、平成30年4月に、12番目の学部として国際社会で活躍するグローバル人材を育成する**学生定員105名の共創学部を設置**する予定です。

昭和42年6月の歯学部設置以来、約50年ぶりに新たな学部を設置し、複雑・多様化するグローバル社会において、多様な人々との協働から異なる観点や学問的な知見の融合を図り、共に構想し、連携して新たな物事を創造する「共創」により新たなイノベーションの創出を担う人材の育成に取り組みます。

(新学部の設置については構想中であり、内容は今後変更する場合があります。)

■構想概要

九州大学は、2011年の創立百周年を機に、新たな百年に向けて、すべての分野において世界のトップ百大学に躍進する「躍進百大」というスローガンを掲げ、「自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究・教育拠点となる」ことを基本理念に、教育、研究、診療など様々な活動を推進しています。

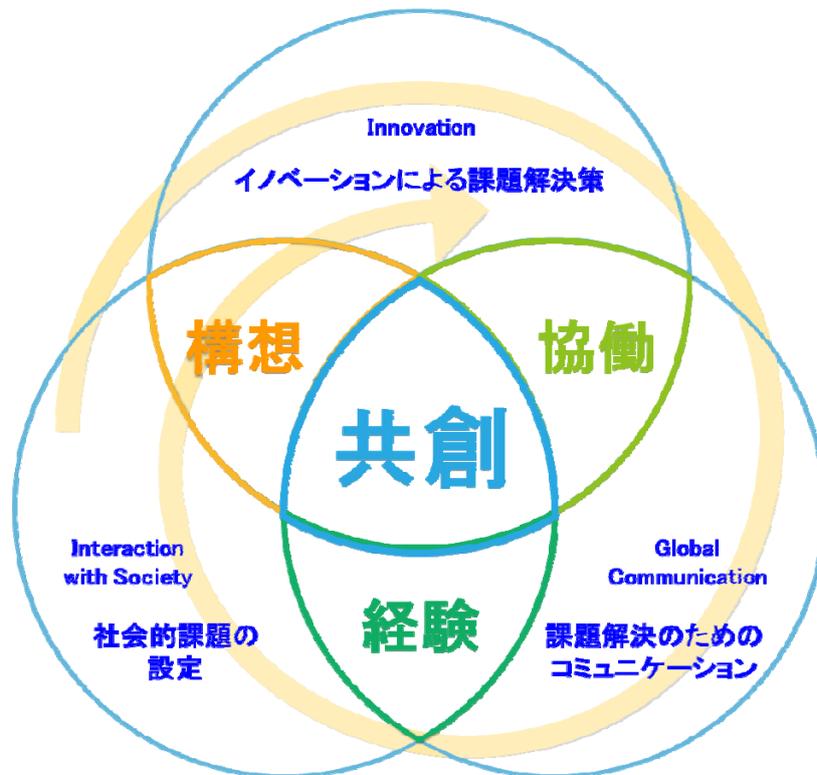
特に我が国の高等教育機関として、世界的に活躍し得る人材を育成し輩出する使命を有しており、人類の未来を託するに足る人材の養成を目指すことを基本姿勢に、教育と研究の調和を図りつつ人材の育成に取り組んでいます。

急速な社会変化から生じた複雑・多様化した課題・問題を抱えるグローバル社会においては、単なる知識の蓄積や技術の改良だけでは課題・問題を解決することが困難であり、課題や問題の背後にある社会的背景（言語、文化、宗教、価値観、経済力など）の多様性も理解したうえで、自らの問題意識に基づき、地球規模の課題を分野横断的な発想をもって解決手段を見つけることができる人材を育成することが必要であると考えます。

新たに設置する学部の名称は、「**共創学部 (School of Interdisciplinary Science and Innovation, Kyushu University)**」で、幅広い学問分野の知識等を基に、グローバル社会が直面している解決すべき課題を設定し、国家や社会、文化の境界を越えた人々との協働から異なる観点や学問的な知見の融合を図り、共に構想し、連携して新たな物事を創造する「共創」により新たなイノベーションの創出に取り組むグローバル人材の養成を目的とします。

(1) コンセプト

社会的課題の設定から課題解決策を考え【構想】、課題解決に向け他者と取り組み【協働】、構想から協働までの一連の【経験】を通じて、【共創】を目指す。



(2) 幅広い学問分野－4つの領域（エリア）等

①人間・生命エリア

生命の発生・進化や、人間の思考・認知・判断の仕組みなどを、生物学、認知科学、脳科学等を通して学ぶ。

②人と社会エリア

意思疎通における言語の仕組みや、先史社会、多文化共生、社会における生活実践としての福祉、宗教観などを、社会学、文化人類学、コミュニケーション学等を通して学ぶ。

③国家と地域エリア

国家や地域の歴史、特徴的な経済・社会現象、政治や経済面での関係性などを、政治学、経済学、史学等を通して学ぶ。

④地球・環境エリア

地球がもつ資源や、地球環境の変化による災害、生命が環境に与える影響などを、地球惑星科学、社会・安全システム科学、基礎生物学等を通して学ぶ。

また、4つの領域（エリア）による学びの共通の基礎となり、さらには構想を発展させる役割を担う横断的な科目、例えばクリエイティブなアプローチを活用した思考法である「デザイン思考」や、新たな価値を引き出すためのデータ処理・分析などの「データサイエンス」、さらには地球的視野を学ぶ「グローバルヒストリー」等を履修することにより、課題・問題の解決に必要な知識・能力を身に付けます。

■学びの特色

(1) 文理を融合したカリキュラム

人文科学、社会科学、自然科学の既存の学問分野を横断しながら、文系マインド・理系マインドや多様な方法論を身につけさせ、実践的な課題に基づいた学修を行います。将来、研究者や専門家、企業人として、国内外で活躍できる人材を育成します。

(2) 協働学習（PBL／TBL※形式学習）

グループでテーマについて議論しあう協働学習を取り入れ、他者と協働で学ぶことにより広い視野と柔軟な思考力、物事を色々な角度から捉える複眼的な洞察力を涵養します。

※PBL：Problem-Based Learning、TBL：Team-Based Learning。

(3) 習熟レベルに応じた英語教育

習熟レベルに応じた英語教育を初年次から実施し、世界や日本の時事問題を英語で学ぶことにより、現代の課題を意識し、常に最新の情報をグローバルな視野で入手する姿勢を涵養します。

(4) 海外大学等への留学

大学間交流協定校をはじめ、海外大学等へ一定期間の留学を課し、国際体験を通じた国際理解・知識の拡大と、語学力やコミュニケーション力の向上を図ります。

(5) Class Share

日本人学生と留学生が共に学ぶ教育環境（Class Share）を構築し、学生と教職員がアクティブに交流することにより、相乗的・協働効果を生み出すグローバル・ハブ・キャンパスの形成を図ります。

■入学者選抜

新たに設置する共創学部では、知識・技能のみならず、思考力・判断力・表現力や、主体性・多様性・協働性を持つ多様な学生を選抜するため、4つのタイプの入学者選抜を実施します。

入学定員	選 抜 方 法		センター 試験の利用	選抜予定時期	
105人	一般入試（前期） 65人		○	前期日程：2月下旬	
	特別入試（推薦） 10人		○	1次：1月下旬 2次：2月初旬	
	特別入試（AO） 20人		—	1次：10月初旬～中旬 2次：11月初旬	
	国際型 入試 10人	特別入試（帰国子女）	若干名	—	2月下旬
		特別入試（私費外国人 4月入学）	若干名	—	2月下旬
特別入試（私費外国人 10月入学）		若干名	—	1次：2月中旬 2次：3月初旬	

※ 入学者選抜の詳細については、平成29年3月以降に公表予定。

【お問い合わせ】 九州大学学務部学務企画課
 電話：092-802-2273 FAX：092-802-5990
 Mail：gakikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp